

年頭の挨拶

公益社団法人 日本防犯設備協会 会長 春山 正樹



2026年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。また、旧年中は当協会の活動に対し格別のご支援、ご協力を賜りましたこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、国内の経済環境については、回復と停滞の間で揺れ動いており、物価上昇や人手不足などの課題が続く一方で、インバウンド需要の回復により観光事業の活性化や設備投資の増加といった明るい兆しも見られ、また大阪・関西万博の開催も地域経済の活性化に寄与したところであります。

他方、国内における治安情勢をみると、刑法犯認知件数は、平成15年から令和3年まで一貫して減少してきたところ、令和6年は約73万7千件と、戦後最小となった令和4年以降3年連続で増加いたしました。とりわけ、財産犯の被害額は4,000億円を超え、昨年の詐欺の被害額は3,000億円を上回っております。犯罪の態様を見ましても、匿名・流動型犯罪グループによる凶悪な手口の強盗事件のほか、特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺、太陽光発電施設からの金属ケーブル窃盗の多発、性加害目的やストーカー的な建物内の凶悪事件、さらには学校内での教師による盗撮事案など、市民の安全安心に大きな不安感をもたらすような事件が多く報道されております。

このような情勢を背景に、警察庁では、昨年5年ぶりに「安全・安心まちづくり推進要綱」を改正されたわけですが、同要綱では防犯カメラの設置推進が謳われているほか、防犯設備の専門家による防犯診断の推奨など関係業界との連携についても

言及されており、私ども協会の会員企業の皆様方、地域協会、そして防犯設備士・総合防犯設備士の方々の果たす役割に、大きな期待が寄せられているものと考えております。

ここで、最近の当協会の取組状況を簡単にご紹介させていただきます。まず当協会の中核事業であります防犯設備士及び総合防犯設備士制度事業ですが、昨年11月現在で、防犯設備士の累計の資格取得者数は約3万3千人となっております。受験者については近年減少傾向にあり、一昨年度は684名と極めて厳しい数字であったところ、昨年度は813名と増加に転じました。本年度も厳しい状況が続いているが、何とか目標の800名のラインを達成したいと考えております。また、総合防犯設備士については、昨年11月現在で資格取得者数は527名となっており、昨年度から受験資格の要件緩和や科目合格制の導入など実施しておりますが、受験者数についてはやや低調な状況にあります。

他方、昨年2月に防犯設備士制度規程を改正し、防犯設備士及び総合防犯設備士の資格更新期間を3年から5年に延長するとともに、すべての防犯設備士資格に更新義務を課すこと、一定期間経過後もなお更新をしなかった場合は資格を失効することといたしました。更新期間の延長措置については既に昨年4月から施行されており、更新義務の拡大等については本年4月からの施行となります。

また、国土交通省が推進する建設キャリアアップシステム（CCUS）の能力評価基準において、

防犯設備士と総合防犯設備士が、昨年8月より初めて建設技能者として位置付けられることになりました。

当協会としては、更新制度の改正に関しさらなる周知徹底を図っていくとともに、CCUSにより両資格に新たな社会的経済的価値が付加されることとなったことも踏まえ、引き続き両資格の魅力の向上、活躍の場の拡大を図りつつ、広く資格の取得及び更新を働きかけてまいりたいと考えております。

もう一つの中核事業でもありますRBSS（優良防犯機器認定制度）については、自治体等における防犯カメラやLED防犯灯の調達仕様書などにおいてRBSS認定機器を推奨等して頂けるケースが徐々に増加してまいりました。そのような中で警察庁の「安全・安心まちづくり推進要綱」において、今般、RBSS制度に準拠した防犯カメラの設置について言及していただいたことは誠に心強く、同制度のさらなる認知度向上、認定機器の普及につながることを期待しております。

最後に地域協会についてです。昨年10月31日、愛媛県において、一般社団法人愛媛県防犯設備協会が設立され、これにより全国46協会で残る未設置県は1県となりました。地域協会は、防犯設備士や総合防犯設備士の活動拠点として、各都道府県警察、自治体と連携して、防犯診断や防犯相談など安全安心まちづくりに向けた具体的な施策を実行していただく、大変重要な存在であります。引き続き早期の全県設置に向けて働きかけを行ってまいります。

当協会では、今後とも、防犯設備士、総合防犯設備士、RBSSの3つの制度事業を基軸とし、安全で安心して暮らせる社会の実現に向けて一層の貢献をしていく所存でございますので、会員企業の皆様、警察庁様をはじめとした関係機関・団体の皆様、各地域協会の皆様のご支援、ご鞭撻

を何卒よろしくお願ひいたします。

結びになりましたが、皆様のますますのご発展とご健勝を祈念し、簡単ではございますが、私の御礼と新年のご挨拶といたします。